

KIS 国際物流ニュース！（2020年10月号）

国際物流業務に役立つ 最新情報をお届け！

国際事情、行政、システム、導入事例、多彩な情報からピックアップ



サービス貿易統計からみる中国のデジタルサービス分野の対外開放

「中国国際サービス貿易交易会（CIFTIS、服貿会）」が9月4日から9日まで北京で開催されました。参加企業は世界148か国、2万2千社の企業・機関が出展。コロナ感染症拡大防止のため、オンライン出展、オンライン参加も拡大され、今年は約9万人が参加するとのことでした。同交易会は、中国輸出入商品交易会（広州交易会）、中国国際輸入博覧会（輸入博）と並び、中国経済の三大展示会の一つです。同交易会の開催期間中に新たな対外開放政策が発表されることが通例になっており、今年は習近平国家主席が基調講演を行い、サービス分野の対外開放をさらに進める方針が発表されました。

実態として2020年1-7月のサービス貿易は、新型コロナウイルスの影響で旅行サービスの輸出入が激減したため、輸出が対前年同期比▲1.4%、輸入が▲22.8%でした。しかし内訳を見ていくと輸出では「知的財産権使用料」+31.9%、「情報通信サービス」+16.9%、「保険サービス」+12.9%、「電信・コンピュータ・情報サービス」+16.9%。輸入では「情報通信サービス」が+28.5%、「金融サービス」が+16.6%といずれも知識集約型サービスが堅調に推移しました。サービス貿易に占める知的集約型サービスの割合が9.7ポイント上昇し44.0%となり、サービス貿易の構造改革が進んでいることを実態として示しました。

服貿会の基調講演において習近平国家主席は、サービス貿易の外資ネガティブリスト制度の確立、サービス分野の市場参入基準の緩和、サービス輸入の拡大、デジタル分野の国際協力の加速、知的財産権保護の強化等を挙げました。世界と協調、権利の保護強化といった改革をベースに、海外からの知識を取り込み、中国のデジタルサービスの海外進出といった戦略を具体化することが予想されます。

【発表会】 Forwarder-PRO 新商品発表会のご案内

海貨・通関業務システム「Forwarder-PRO」の最新版の発表会を開催致します。現行バージョンを2014年にリリースしてから5年、かねてより開発を進めてきました。好評な機能はすべて踏襲したうえで機能強化、在宅勤務やリモートワークを想定した機能も充実させます。

下記の通り、大阪と東京で発表会を行います。新型コロナウイルス感染防止策を施し開催致しますので、ご多忙の中恐縮ですが、ご臨席賜りますようお願い申し上げます。

申込 お申込みは弊社サイトの本イベントページよりお願い申し上げます。

<https://www.kisnet.co.jp/event/>



関西総合システム株式会社

<http://www.kisnet.co.jp>